

令和8年度新宿区立富久小学校学校経営方針 概要

教育目標

「教養と礼儀を身に付け 勇気をもって前向きに生きる 富久の子」

目指す学校像 「和やか 柔らか さわやか 活気あふれる富久小学校」

安心できる学習

- ・分かるという安心
 - ・分かるまで教えてくれる安心
 - ・先生や友達が認めてくれる、受け入れてくれる安心
 - ・自分自身を表現できる安心
- そのために

カリキュラム・マネジメントによる、効果的な指導計画と活用する・考える力の育成を図る。

- ① 主体的、対話的な深い学びへのアプローチ
「ワクワク・ドキドキ
・生き生き、心が動く」
学びのプロセス構築
- ② 振り返り、自己評価ができる授業
- ③ 話し合いを重視した授業
思考ツールの活用
- ④ 情操教育の充実
音楽や図工と他教科との関連を重視した計画
- ⑤ 読書活動の推進
○図書館の充実を図る。地域、保護者の方々との連携（図書館に大人がいない時間を「〇」にする。
- ⑥ 習熟度別指導の充実

寛容で人間性豊かな心

教養と礼儀

ただ単に、知識や技能を教養ととらえるのではなく、その人の内面からあふれ出てくる、人としての「やさしさ」「強さ」「厚み」「深さ」等の基礎を学習や生活の中で身に付ける。

世界で通用する

○立ち居振る舞い

（目に見える、聞こえる）

- ・感謝 ・あやまること
- ・礼儀 ・言葉遣い ・表情
- ・姿勢 ・服装、身だしなみ
- ・食事のマナー・時間を守る

○寛容な心

（目に見えない、心に残る）

- ・受け入れ、許す
- ・認める、高め合う
- ・感謝し、人を敬う
- ・謙虚に自己を見つめる

○特別の教科 道徳を核とした道徳教育の推進

○いじめをしない、させない、ゆるさないの徹底

- ・時には、厳しい叱責と受け入れ、分かるまで諭す指導
- ・家庭との連携

勇気をもって前向きに生きる

○失敗を恐れず、挑戦する。勇気をもって再度挑戦する

失敗は新たな力をつけるためのスタートライン そのスタートラインにもう一度立つ勇気をもてるようにする。

○前向きに生きるための体力測定ができる体力や、運動の技能のみを体力としてとらえず、健康に明るく前向きに生きるための基礎を身に付ける。

☆心と体の自立 健康教育（健康の自己管理能力）

○体育科を中心とした健康教育

○基本的生活習慣の確立

- ・睡眠、食生活、保健衛生
- ・SNS、ゲーム等の課題依存症にならないために

・総合的な学習の時間や生活科、体育科、特別活動と連携した食育や保健指導

○体力向上（行動、防衛）

- ・コーディネーショントレーニングを取り入れた体育学習
- 心の健康

SCを活用した心に寄り添う指導体制

OGIGAスクール構想への対応 ・健康面への配慮 ・家庭学習への活用 児童の発達段階にあった活用

○教科担任制の導入 高学年で実施

学年で子供たちを見る 観る（観察） 診る（診断） 看る（世話） 視る（調査）

地域・PTAとの連携

地域の人材を活用して「ひと」「もの」「こと」から学ぶ授業を展開

地域協働学校運営協議会との連携、町探検やお店調べ・町の歴史等、地域に根差した学習